

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：34002

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
◇令和7年度全国学力・学習状況調査より 「国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか。」の質問に肯定的に答えた人数が全国平均を上回っている。授業の中で、生徒一人一人が自分の思いや考えを形成する部分で一定の成果があると考えられる。	◇令和7年度全国学力・学習状況調査より どの教科においても「勉強が得意・好き・内容がよく分かる」と肯定的な回答をしている人数が全国平均を下回っている。生徒にとって分かりやすく、主体的に学習に取り組めるような授業づくりを、より一層展開していきたい。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度 〉の現状と課題	
◇札幌市の共通指標より 「自分が必要とされていると感じる」と答えた人数が札幌市平均を下回っている。その他の相互承認に関する項目も下回っている。 ◇令和7年度全国学力・学習状況調査より 「友達関係に満足していますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に肯定的な回答をしている人数が全国平均を下回っている。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

学びに向かう力と人間性

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
取組	◇研究主題 「主体的に取り組み、共に高め合う生徒の育成」 ⇒各授業だけでなく、行事、日々の当番活動など学校生活全体に広がり、教職員はすべてにおいて「主体的に取り組むような仕掛け」を考えていく。 ⇒必要なコミュニケーション能力や相手の立場になって考えたり、尊重したりすること（挨拶・礼儀を含む）を高める。	◇よりよい学校生活にするための取組 ⇒学校行事の充実 ⇒あいさつ運動 ⇒各学年で実施しているステップアップ活動 ◇自分たちの生活を振り返る場の設定 ⇒キャリアパスポート、学校アンケートによる自己評価

〈本プログラムの実行に向けて〉

